

2013年度決算説明資料

2014年4月25日

川崎重工業株式会社

目次

I. 2013年度連結決算の概要

◇ 2013年度決算実績 サマリー	3
◇ 2013年度決算実績 セグメント別	4
◇ 損益計算書の概要	5
◇ セグメント別決算実績	
船舶海洋	6
車両	7
航空宇宙	8
ガスタービン・機械	9
プラント・環境	10
モーターサイクル&エンジン	11
精密機械	12
◇ 貸借対照表の概要	13
◇ キャッシュ・フローの概要	14

II. 2014年度業績見通し

◇ 連結受注高・売上高・利益見通し	15
◇ セグメント別通期業績見通し	16
◇ 研究開発費・設備投資・期末従業員数	17

III. セグメント別税前ROIC等の推移

◇ セグメント別税前ROIC等の推移	18
〈参考〉 ヒストリカル・データ	19

2013年度決算実績 サマリー

(億円)

	2012年度 実績	2013年度		増 減	
		1月公表※	実績	前期比	1月公表比
受注高	13,695	14,500	14,554	+858	+54
売上高	12,888	14,000	13,854	+966	▲146
営業利益	420	630	723	+302	+93
経常利益	393	530	606	+212	+76
当期純利益	308	340	386	+77	+46
税前提ROIC	6.1%	7.4%	8.1%	+2.0%	+0.7%

前期比

【受注高】

一部のセグメントで減少したものの、
モーターサイクル&エンジン、精密
機械、船舶海洋等を中心に増加し、
全体では増加となった

【売上高】

プラント・環境、船舶海洋等で減収と
なったものの、モーターサイクル&
エンジンや航空宇宙等が増収となった
ことにより、全体では増収となった

【利益】

モーターサイクル&エンジン、
航空宇宙、車両等が増益となり、大幅
な増益となった

売上加重 平均レート	ドル (¥/\$)	82.86
	ユーロ (¥/EUR)	107.76

99.63
134.56

(参考) 損益影響外貨量 (億外貨)

ドル	ユーロ
21.9	2.5

※ 1月公表の前提レート：100円/\$ 135円/EUR

2013年度決算実績 セグメント別

(億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	2012年度	2013年度	増減	2012年度	2013年度	増減	2012年度	2013年度	増減
船舶海洋	1,057	1,178	+121	903	808	▲94	41	▲20	▲61
車 両	1,244	1,330	+86	1,299	1,479	+179	22	75	+53
航空宇宙	2,834	2,863	+28	2,391	2,807	+415	148	262	+114
ガスタービン・機械	2,555	2,220	▲335	2,070	1,892	▲177	70	104	+34
プラント・環境	1,136	1,039	▲96	1,158	1,038	▲119	97	63	▲34
モーターサイクル&エンジン	2,518	3,222	+703	2,518	3,222	+703	23	161	+137
精密機械	1,097	1,272	+175	1,304	1,232	▲71	84	104	+19
そ の 他	1,251	1,426	+174	1,242	1,372	+130	12	44	+32
調 整 額※	-	-	-	-	-	-	▲80	▲72	+8
合 計	13,695	14,554	+858	12,888	13,854	+966	420	723	+302

※ 「調整額」には、本社部門で発生する費用で社内管理上各部門への配賦を行わない費用等を含む

損益計算書の概要

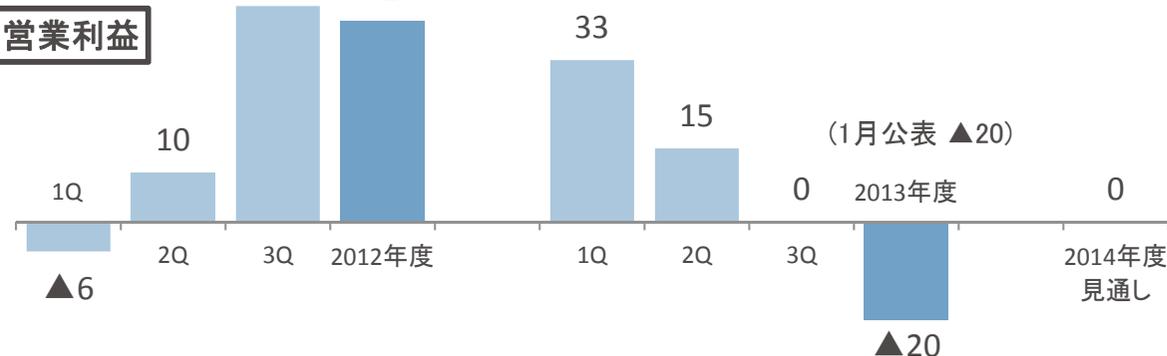
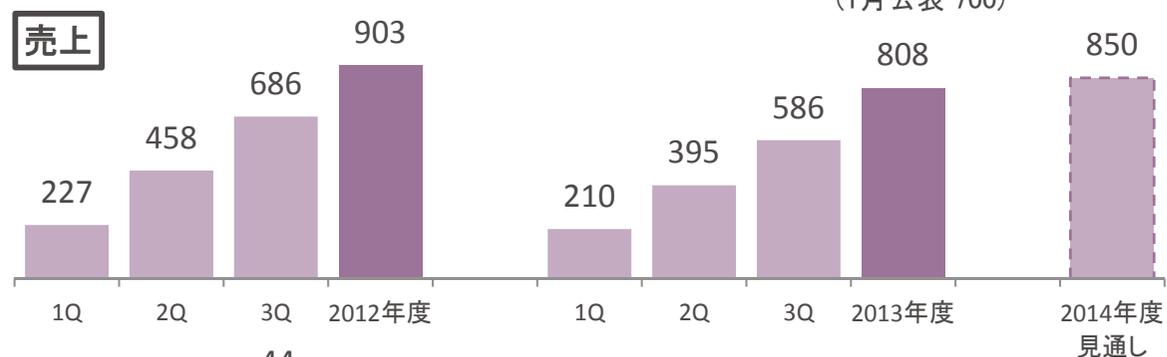
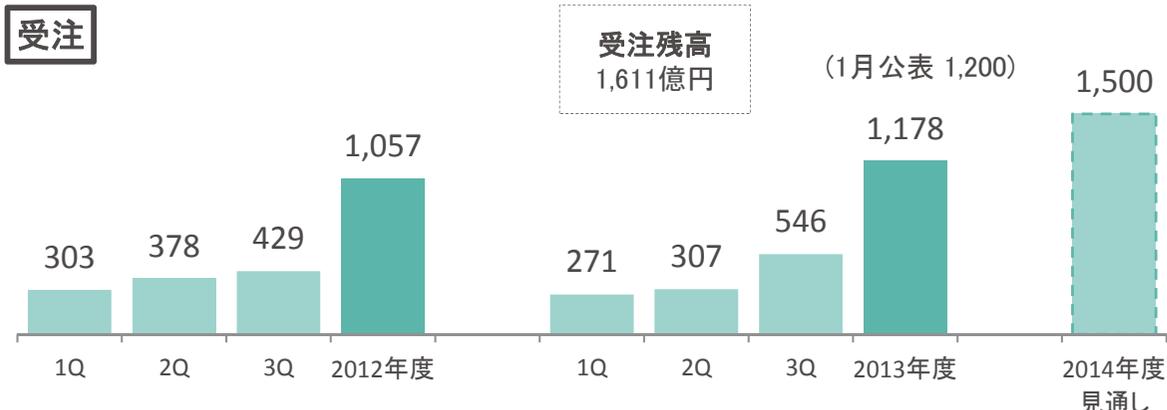
【営業損益】	前期比	+	302	億円	(2012年度 420億円	⇒	2013年度 723億円)	
・売上高		+	966	億円	(12,888	億円	⇒	13,854	億円)
(FIAIにかかる経理処理変更※の影響を除く場合)			(+1,341	億円	(12,888	億円	⇒	14,229	億円))
・売上原価		+	548	億円	(10,854	億円	⇒	11,402	億円)
(FIAIにかかる経理処理変更※の影響を除く場合)			(+923	億円	(10,854	億円	⇒	11,777	億円))
・販売費および一般管理費		+	114	億円	(1,613	億円	⇒	1,728	億円)
うち給料および手当		+	35	億円	(430	億円	⇒	466	億円)
うち研究開発費		▲	13	億円	(417	億円	⇒	403	億円)
※ FIAIにかかる経理処理変更については決算短信17ページをご参照									
【営業外損益】	前期比	▲	90	億円	(2012年度 ▲27億円	⇒	2013年度 ▲117億円)	
・金融収支(受取配当金を含む)		▲	1	億円	(▲ 25	億円	⇒	▲ 26	億円)
・持分法による投資利益		▲	15	億円	(85	億円	⇒	70	億円)
・為替差損益		▲	48	億円	(▲ 99	億円	⇒	▲ 147	億円)
・その他		▲	24	億円	(11	億円	⇒	▲ 13	億円)
【特別損益】	前期比	▲	61	億円	(2012年度 68億円	⇒	2013年度 7億円)	
・退職給付信託設定益		+	33	億円	(0	億円	⇒	33	億円)
・厚生年金基金代行返上益		▲	86	億円	(86	億円	⇒	0	億円)
・減損損失		▲	1	億円	(▲ 3	億円	⇒	▲ 4	億円) ^{※1}
・災害による損失		▲	21	億円	(0	億円	⇒	▲ 21	億円) ^{※2}
・環境対策引当金繰入額		+	14	億円	(▲ 14	億円	⇒	0	億円)

※1 一部の遊休資産等について、帳簿価額を回収可能価額まで減額した減損処理額

※2 災害による損失は、一部の子会社における大雪による固定資産・たな卸資産の滅失等によるものである

船舶海洋

主要製品：LNG船、LPG船、オフショア船、VLCC、ばら積み運搬船、潜水艦 (億円/各期の数値は累計)



2013年度実績

(前期比)

受注 液化ガス運搬船(LNG運搬船、LPG運搬船)や大型オフショア作業船等9隻の受注により増加

売上 液化ガス運搬船の建造量が増加した一方、ばら積み船等の建造量の減少により減収

営業利益 受注工事損失引当金の新規繰入や鋼材価格の上昇等により損益悪化

2014年度見通し

(前期比)

受注 液化ガス運搬船および官公需向け新造船の受注等により増加

売上 大型船は増加するものの、ばら積み船の減少により微増

営業利益 増収およびコスト削減等により改善

<新造船の受注・売上隻数>

(隻)

	受注		売上	
	2012年度	2013年度	2012年度	2013年度
LNG船	2	2	2(2)	3(2)
小型LNG船			1(1)	1(0)
LPG船	1	2	2(1)	2(1)
オフショア船		1		
ばら積み運搬船	2	4	21(5)	7(2)
潜水艦	1		1(1)	2(2)
合計	6	9	27(10)	15(7)

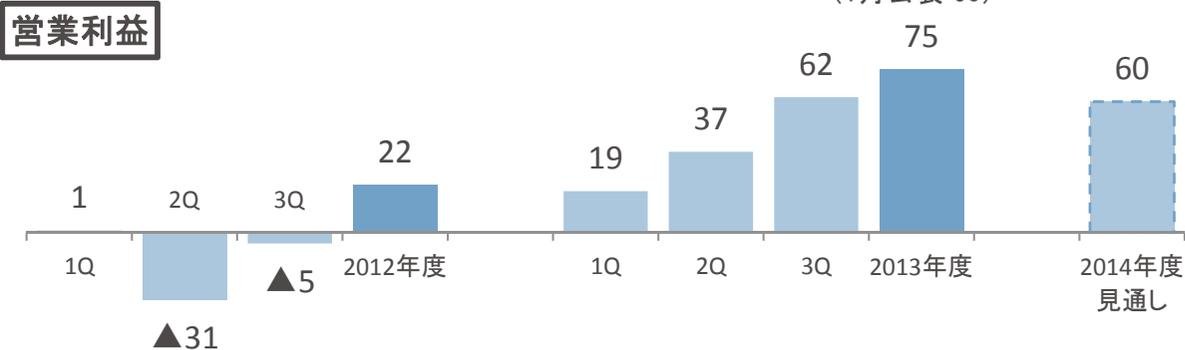
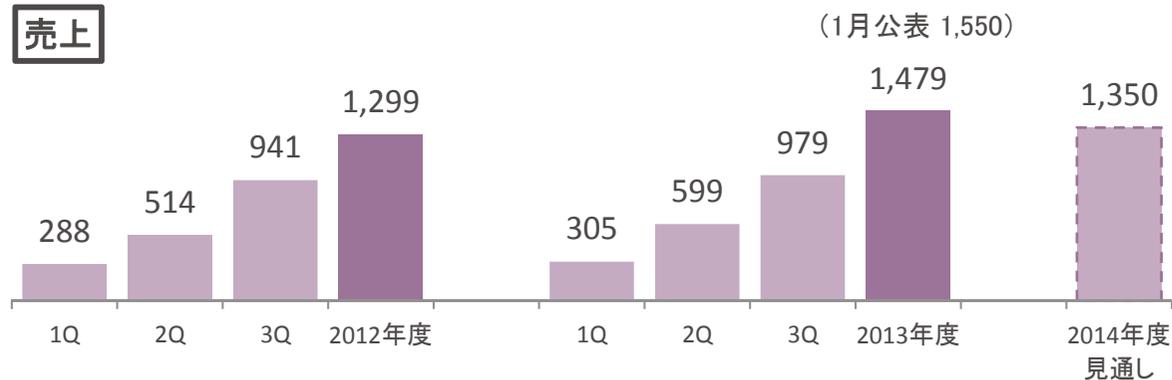
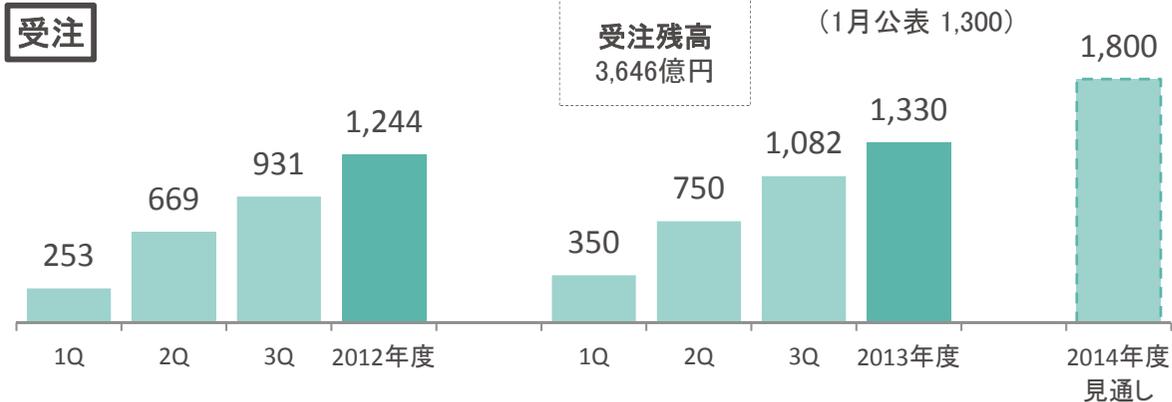
注) 括弧内は進行基準売上(内数)

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度※
税前ROIC	17.3%	3.4%	0.2%	10.0%

※ 2015年度目標は2013年4月25日公表「中計2013」数量目標(為替前提: 95円/\$)

車 両

主要製品： 各種電車(新幹線含む)、機関車、客車、ギガセル(二次電池) (億円/各期の数値は累計)



2013年度実績

(前期比)

受注 ロングアイランド鉄道・メトロノース鉄道向け通勤電車、ワシントン首都圏交通局向け地下鉄電車および札幌市交通局向け地下鉄電車等の受注により増加

売上 北米やシンガポール等の海外向け売上の増加により増収

営業利益 コスト削減や円安の影響により増益

2014年度見通し

(前期比)

受注 海外向け鉄道車両等の増加

売上 国内向け売上やアジアを中心とする海外向け売上の減少により減収

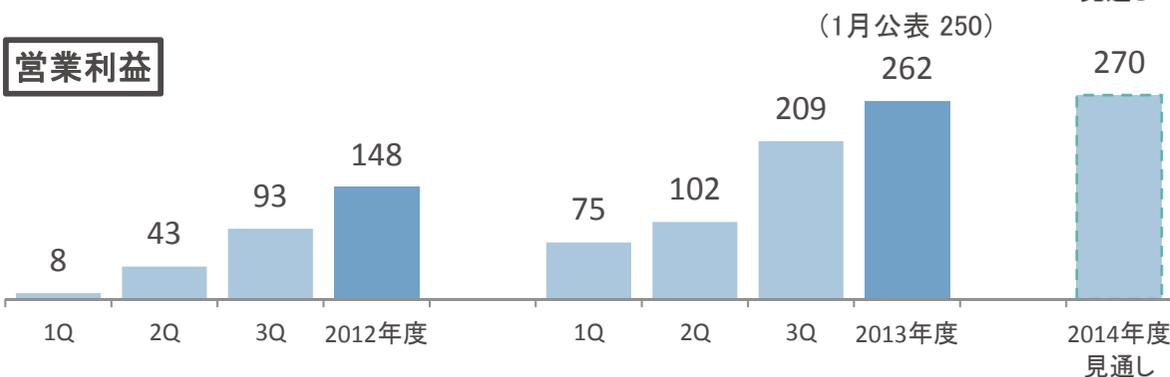
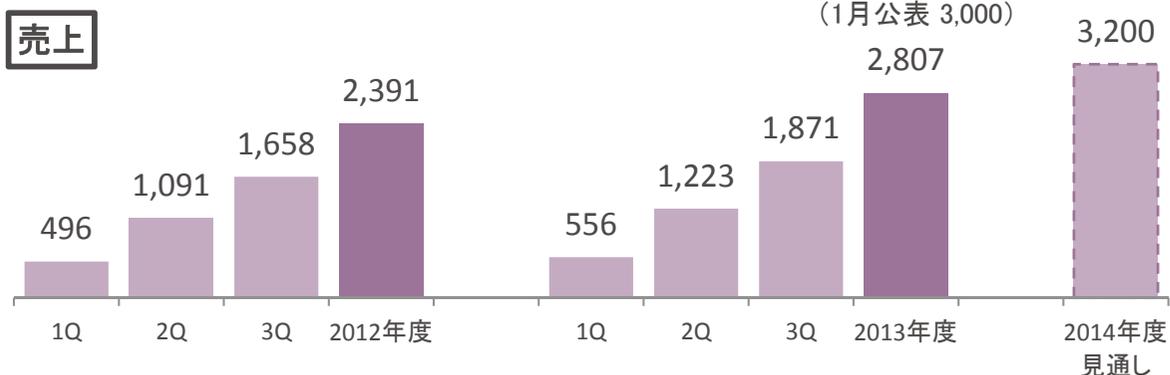
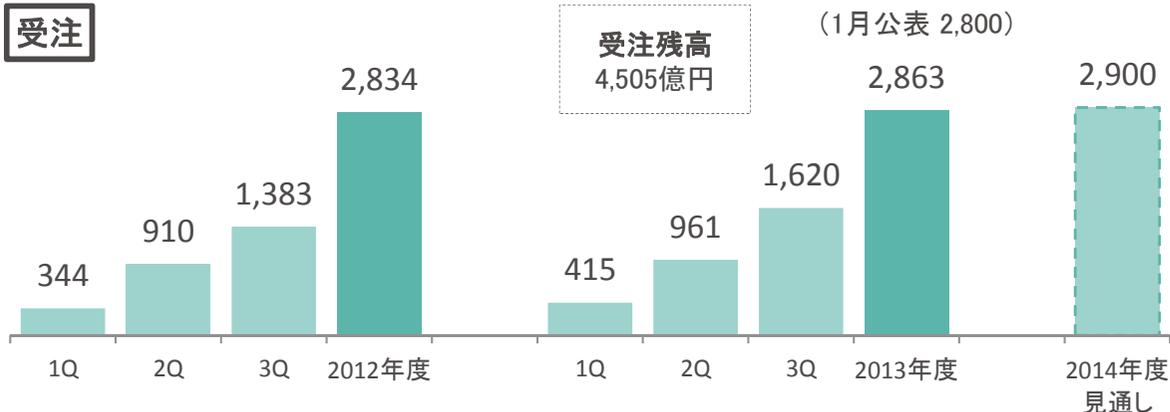
営業利益 減収により減益

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度*
税前ROIC	4.6%	10.2%	7.9%	15.3%

* 2015年度目標は2013年4月25日公表「中計2013」数量目標(為替前提:95円/\$)

航空宇宙

主要製品： 防衛航空機、民需航空機分担製造品、民間向けヘリコプター、誘導機器・宇宙関連機器 (億円/各期の数値は累計)



2013年度実績

(前期比)

受注 ボーイング社向け787分担製造品の増加により増加

売上 ボーイング社向け777・787分担製造品や防衛省向けの増加により増収

営業利益 増収や円安の影響により大幅な増益

2014年度見通し

(前期比)

受注 ボーイング社向け777・787分担製造品等の受注により前期並み

売上 ボーイング社向け787分担製造品等や防衛省向けの増加により増収

営業利益 増収により増益

<民需分担製造品の売上機数> (機)

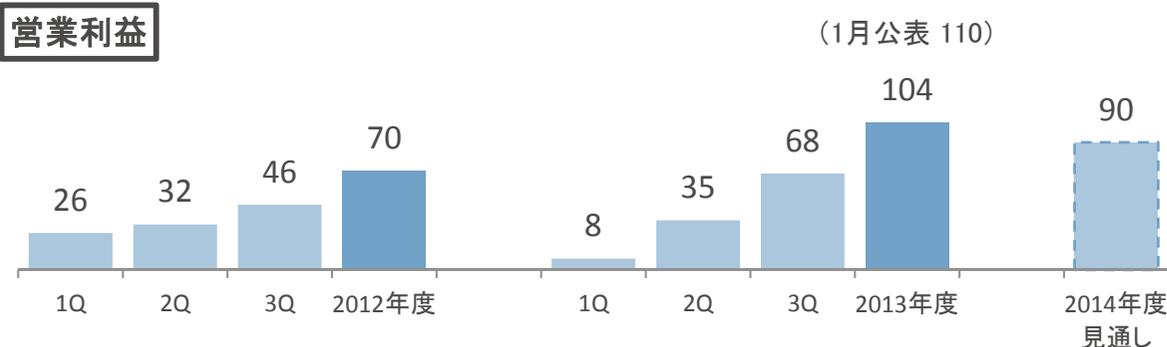
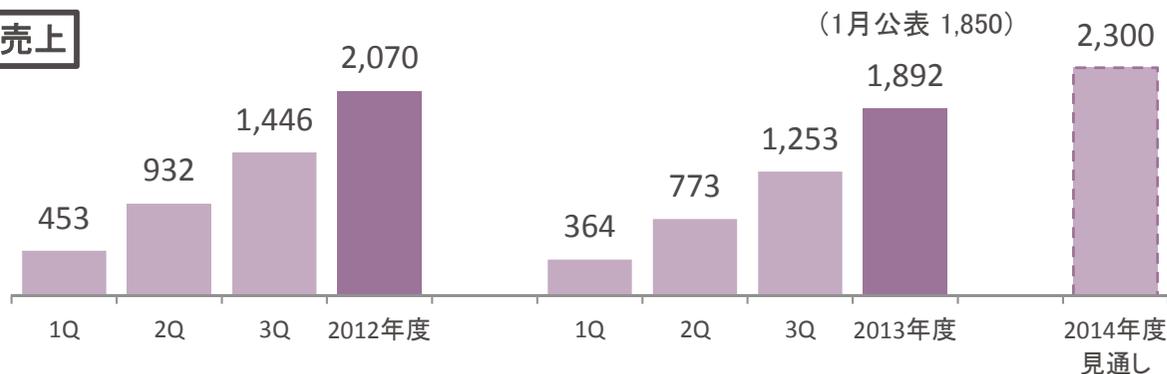
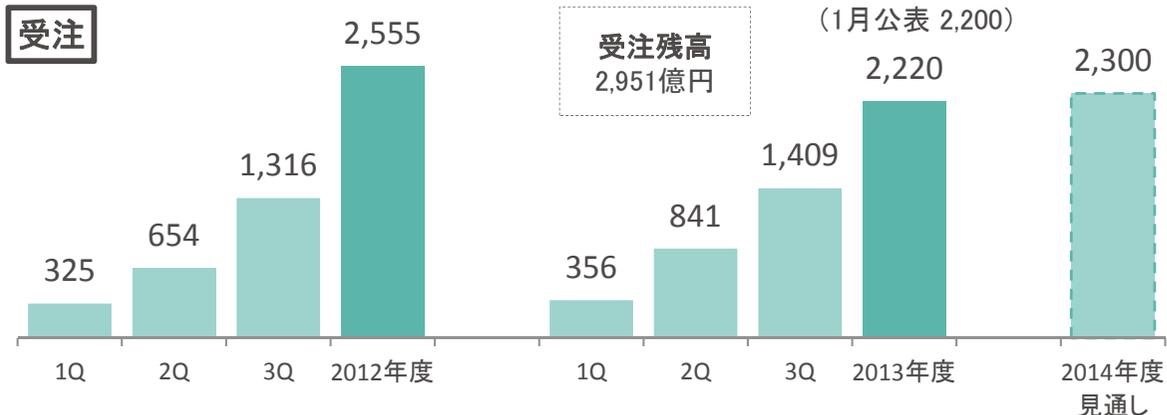
	2012年度	2013年度
Boeing 777	89	99
Boeing 767	25	11
Boeing 787	54	86
Embraer170/175	21	53
Embraer190/195	73	41

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度※
税前ROIC	15.9%	19.6%	17.7%	12.7%

※ 2015年度目標は2013年4月25日公表「中計2013」数量目標(為替前提:95円/\$)

ガスタービン・機械

主要製品： 航空機用エンジン、産業用ガスタービン・コージェネレーション、
ガスタービン、ディーゼル機関、陸用・船用タービン、空力・水力機械



2013年度実績

(前期比)

受注 ガスエンジンの増加、および経理処理変更による減少を除外した航空エンジン分担製造品の増加等により実質的に増加

売上 船用ガスタービンおよび船用ディーゼル主機の減少はあったものの、経理処理変更による減少を除外した航空エンジン分担製造品、およびガスエンジンの増加等により実質的には増収

営業利益 航空エンジン分担製造品の経理処理変更による減少を除外した実質的な増収等により増益

2014年度見通し

(前期比)

受注 水力機械製品等の増加

売上 航空エンジン分担製造品、船用ガスタービンおよび船用ディーゼル主機の増加等により増収

営業利益 航空エンジン分担製造品の初度費負担増加により減益

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度※
税前ROIC	5.3%	4.6%	5.1%	7.5%

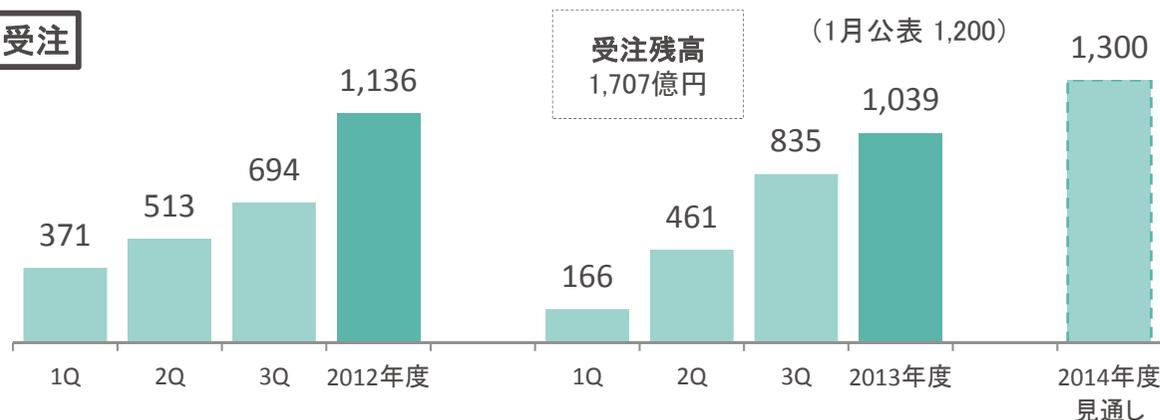
※ 2015年度目標は2013年4月25日公表「中計2013」数量目標(為替前提:95円/\$)

プラント・環境

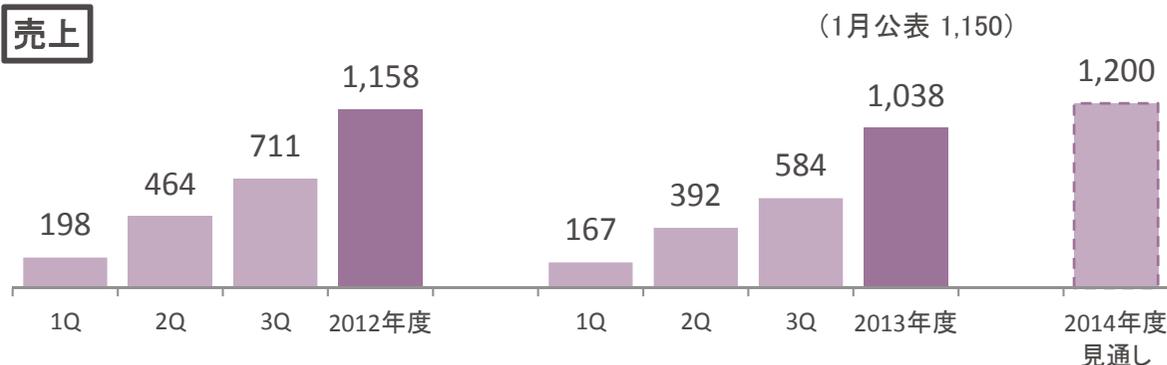
主要製品：産業プラント(セメント、肥料等)、発電プラント、LNGタンク、
ごみ焼却プラント、トンネル掘削機、破碎機

(億円/各期の数値は累計)

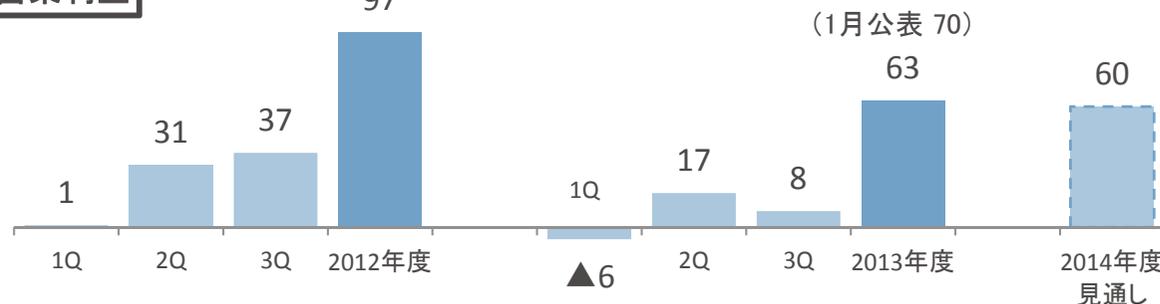
受注



売上



営業利益



2013年度実績

(前期比)

受注 台湾中油股份有限公司(CPC)台中港LNG受入貯蔵設備増設プロジェクト向けLNGタンク等を受注したものの減少

売上 環境装置案件が増加したものの、搬送設備や海外向け大型案件の減少等により減収

営業利益 減収や利益率の低下等により減益

2014年度見通し

(前期比)

受注 環境装置案件等の増加

売上 海外向けLNG貯蔵案件および海外向けプラント案件の増加により増収

営業利益 競争激化に伴う利益率低下はあるものの、増収等により前期並み

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度※
税前ROIC	21.2%	14.9%	13.5%	15.0%

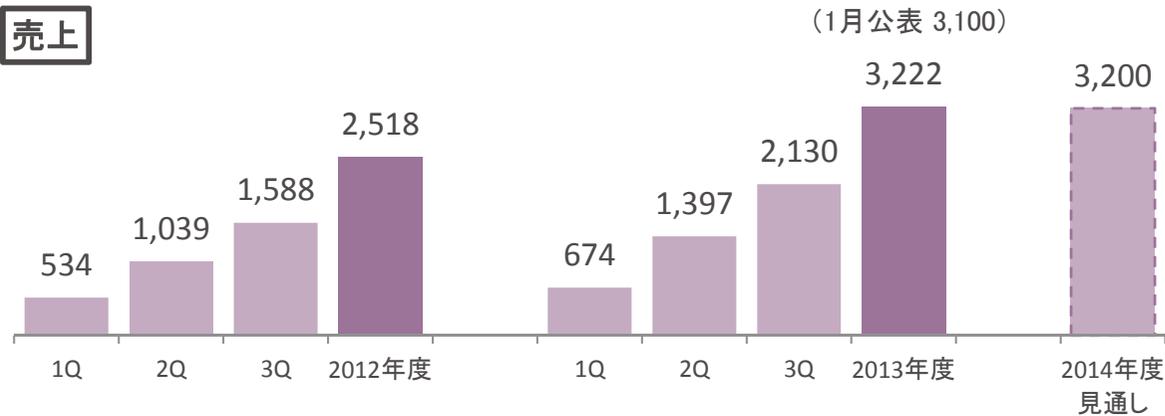
※ 2015年度目標は2013年4月25日公表「中計2013」数量目標(為替前提:95円/\$)

モーターサイクル&エンジン

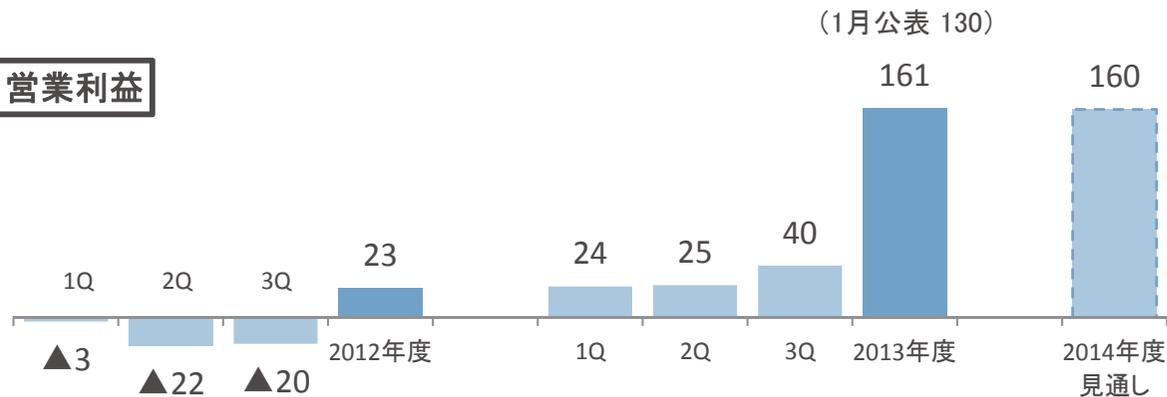
主要製品： 二輪車、四輪バギー車(ATV)、多用途四輪車、
パーソナルウォータークラフト、汎用エンジン

(億円/各期の数値は累計)

売上



営業利益



2013年度実績

(前期比)

売上

米国向け、インドネシアやタイを中心とする新興国向け二輪車の増加等により増収

営業利益

増収および収益性の向上等により大幅な増益

2014年度見通し

(前期比)

売上・

営業利益

各市場とも大きな変動はなく前期並みを維持

<コンシューマー向け製品 地域別売上(卸売)台数・金額> (千台、億円)

	2012年度実績		2013年度実績		2014年度見通し	
	台数	金額	台数	金額	台数	金額
国内	14	121	19	148	16	129
北米(カナダ含む)	118(74)	797	121(70)	1,007	119(70)	962
欧州	55	385	53	458	56	473
新興国等	357	862	397	1,169	472	1,208
合計	544	2,165	590	2,782	663	2,772

注1)二輪車、四輪バギー車(ATV)、多用途四輪車、パーソナルウォータークラフト(「ジェットスキー」)およびこれらの関連製品を含む。

注2)括弧内は二輪車分を示す。(内数)

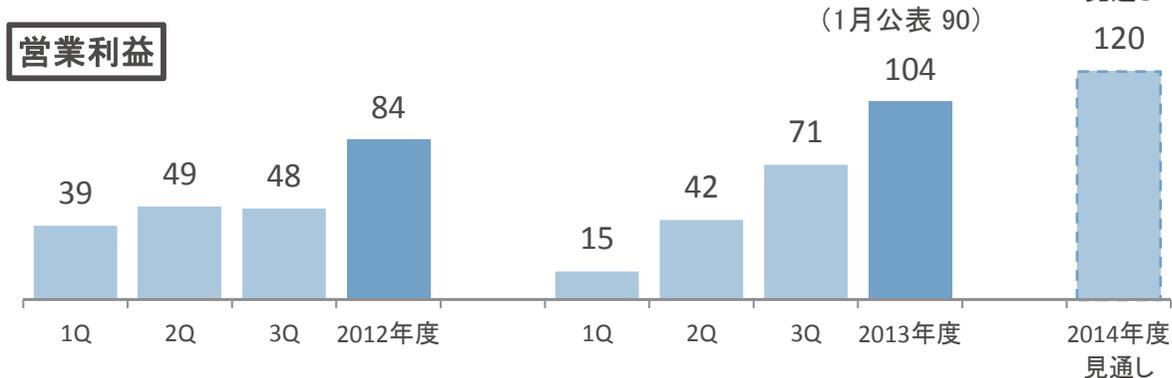
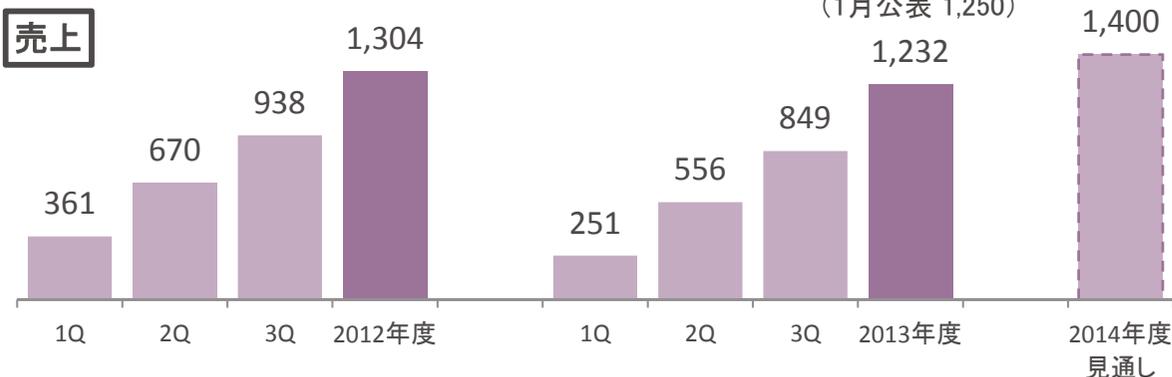
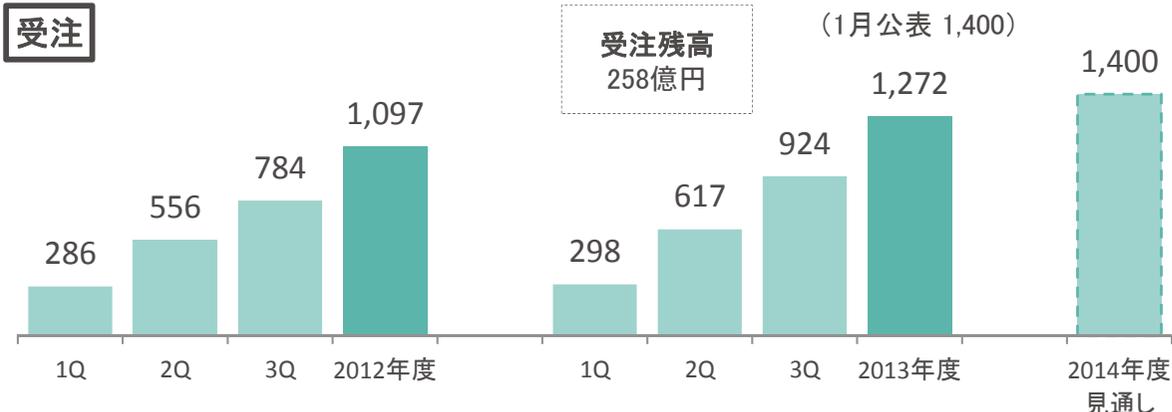
	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度※
税前ROIC	3.4%	1.4%	9.2%	14.3%

※ 2015年度目標は2013年4月25日公表「中計2013」数量目標(為替前提:95円/\$)

精密機械

主要製品：油圧機器（ポンプ・モーター・バルブ）、陸用油圧装置、船用油圧装置、精密機械・機電製品、産業用ロボット

（億円/各期の数値は累計）



2013年度実績

（前期比）

受注 半導体製造装置向けクリーンロボットや自動車産業向けロボットの増加等により増加

売上 半導体製造装置向けクリーンロボットや自動車産業向けロボットが増加したものの、油圧機器の減少等により減収

営業利益 半導体製造装置向けクリーンロボットや自動車産業向けロボットの増収、円安の影響等により増益

2014年度見通し

（前期比）

受注 中国を中心とする新興国での建設機械向け油圧機器等の増加

売上 中国を中心とする新興国での建設機械向け油圧機器の需要回復や半導体製造装置向けクリーンロボットの需要増により増収

営業利益 増収により増益

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度※
税前ROIC	14.0%	17.5%	16.8%	26.3%

※ 2015年度目標は2013年4月25日公表「中計2013」数量目標（為替前提：95円/\$）

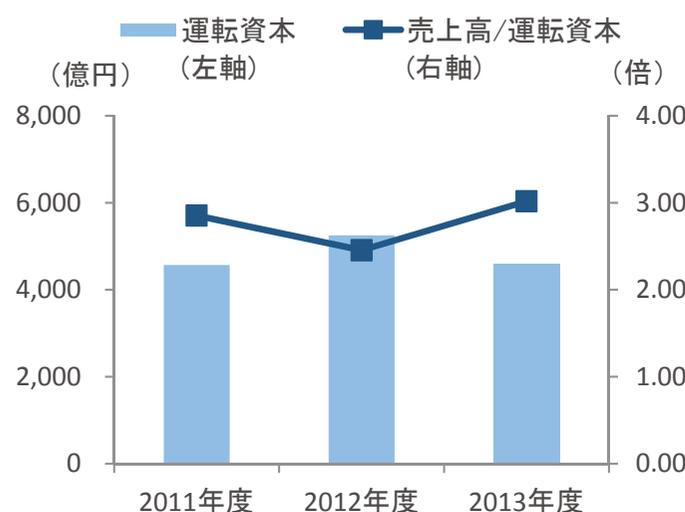
貸借対照表の概要

(億円)

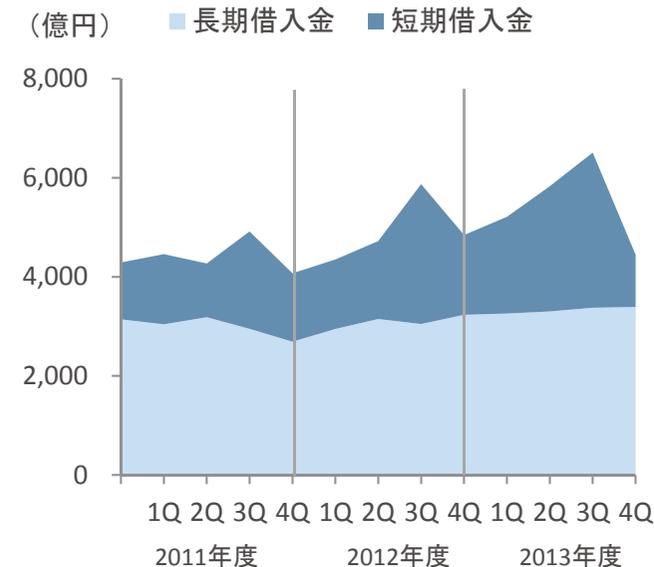
	2012年度末	2013年度末	増減
現預金	385	479	+94
売掛債権	4,326	4,156	▲169
棚卸資産	4,601	4,580	▲20
有形・無形固定資産	3,252	4,011	+759
その他資産	2,097	2,316	+218
資産計	14,662	15,544	+881
買掛債務	2,810	3,060	+249
借入債務	4,846	4,446	▲400
前受金	1,082	1,375	+293
その他負債	2,424	2,894	+469
負債計	11,164	11,777	+613
株主資本	3,573	3,762	+189
その他純資産	▲74	4	+78
純資産計	3,498	3,766	+268
負債・純資産計	14,662	15,544	+881

自己資本比率	23.0%	23.3%
NET D/Eレシオ	131.9%	109.3%

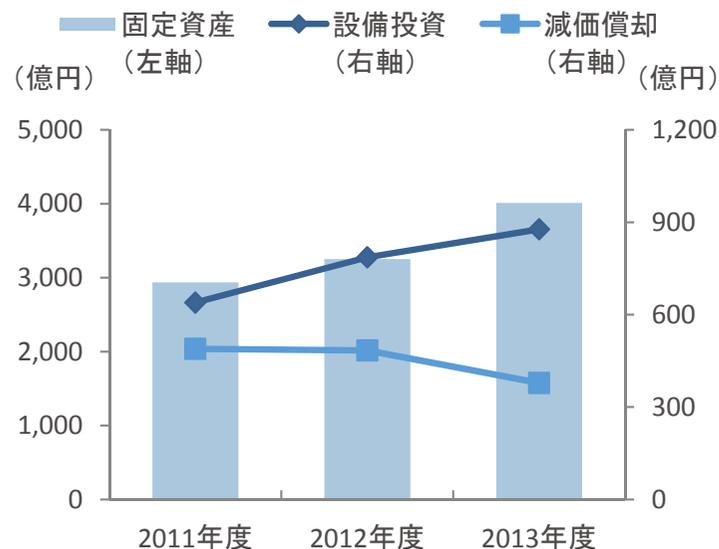
【運転資本の推移】



【有利子負債の推移】



【設備投資等の推移】



【貸借対照表の概況】

当期末の総資産は、売掛債権および棚卸資産の減少があったものの、設備投資による有形固定資産の増加等により前期末に比べ増加。
負債は、有利子負債等の減少があったものの、退職給付に係る未認識債務の計上を主因に前期末に比べ増加。
純資産は、配当金の支払や退職給付に係る未認識債務の計上はあったものの、当期純利益の計上および円安に伴う為替換算調整勘定の計上等により前期末に比べ増加。

キャッシュ・フローの概要

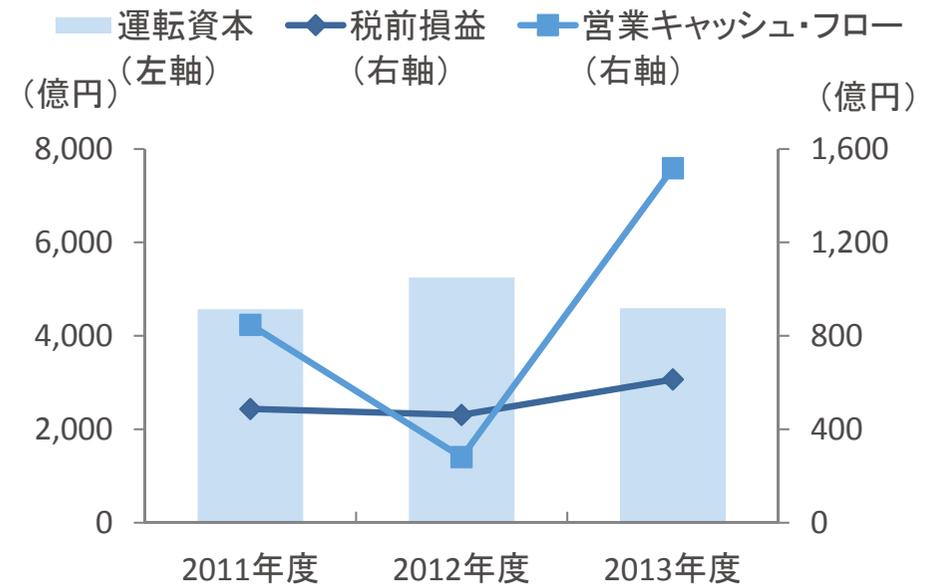
(億円)

	2012年度	2013年度	増減
営業キャッシュ・フロー	281	1,517	+1,236
投資キャッシュ・フロー	▲811	▲775	+36
フリーキャッシュ・フロー	▲530	741	+1,272
財務キャッシュ・フロー	576	▲625	▲1,201

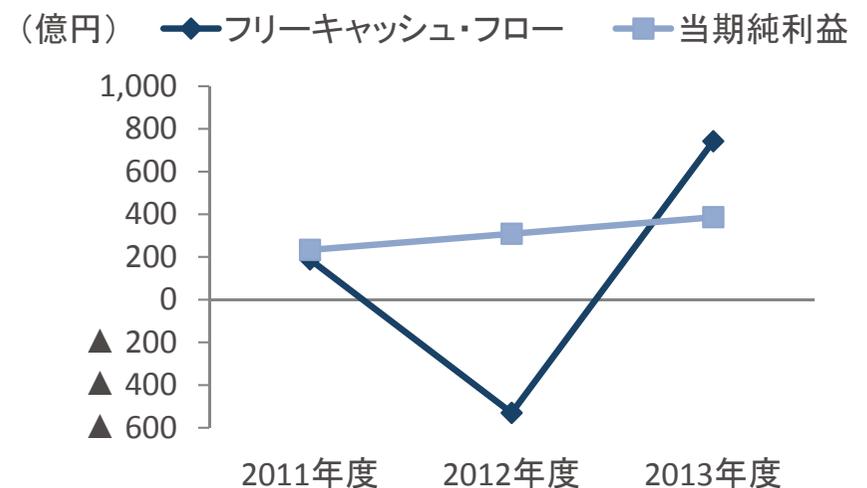
【キャッシュ・フローの概況】

営業キャッシュ・フローは、法人税等の支出があった一方、減価償却費および前受金の増加、仕入債務の増加、売上債権の減少による資金の獲得等により、前期に比べ資金の純増。
有形固定資産の取得等で投資活動に使用した資金は、前期に比べ減少。
この結果、フリーキャッシュ・フローは前期に比べ増加。

【営業キャッシュ・フロー等の推移】



【フリーキャッシュ・フローと当期純利益の推移】



連結受注高・売上高・利益見通し

(億円)

	2013年度 実績	2014年度 見通し	増 減
受 注 高	14,554	15,800	+1,246
売 上 高	13,854	14,900	+1,046
営業利益	723	730	+7
経常利益	606	660	+54
当期純利益	386	410	+24
税前ROIC	8.1%	8.6%	+0.5%

前期比

【受注高】

船舶海洋、車両等での増加により、全体では増加を見込む

【売上高】

航空宇宙、ガスタービン・機械等での増収により、全体では増収を見込む

【利益】

固定費や諸経費の削減・生産性向上等、経営全般にわたる収益改善諸施策を引続き継続していくのに加え、ROIC経営の推進による資本効率の向上等により増益を見込む

実績/前提 レート	ドル (¥/\$)	99.63	100
	ユーロ (¥/EUR)	134.56	135

注) 前提レートは見通し公表時の為替エクスポージャーに対して適用

(参考) 為替影響額

1円の変動による影響額 (億円)

	営業利益	経常利益
ドル	22.2	23.3
ユーロ	2.1	2.0

セグメント別通期業績見通し

(億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	2013年度 実績	2014年度 見通し	2015年度 目標 ^{※1}	2013年度 実績	2014年度 見通し	2015年度 目標 ^{※1}	2013年度 実績	2014年度 見通し	2015年度 目標 ^{※1}
船舶海洋	1,178	1,500		808	850	1,350	▲20	0	60
車 両	1,330	1,800		1,479	1,350	1,800	75	60	130
航空宇宙	2,863	2,900		2,807	3,200	2,700	262	270	200
ガスタービン・機械	2,220	2,300		1,892	2,300	2,500	104	90	130
プラント・環境	1,039	1,300		1,038	1,200	1,400	63	60	80
モーターサイクル&エンジン	3,222	3,200		3,222	3,200	3,000	161	160	150
精密機械	1,272	1,400		1,232	1,400	1,900	104	120	220
そ の 他	1,426	1,400		1,372	1,400	1,350	44	40	
調整額 ^{※2}	-	-		-	-	-	▲72	▲70	▲70
合 計	14,554	15,800		13,854	14,900	16,000	723	730	900

※1 2015年度目標は2013年4月25日公表「中計2013」数量目標(為替前提:95円/\$)

※2 「調整額」には、本社部門で発生する費用で社内管理上各部門への配賦を行わない費用等を含む

研究開発費・設備投資・期末従業員数

(億円・人)

		2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 見通し
研究開発費		417	403	460
設備投資		786	877	910
減価償却費		483	378	470
	国内	25,222	25,531	26,200
	海外	8,788	9,089	8,900
期末従業員数		34,010	34,620	35,100

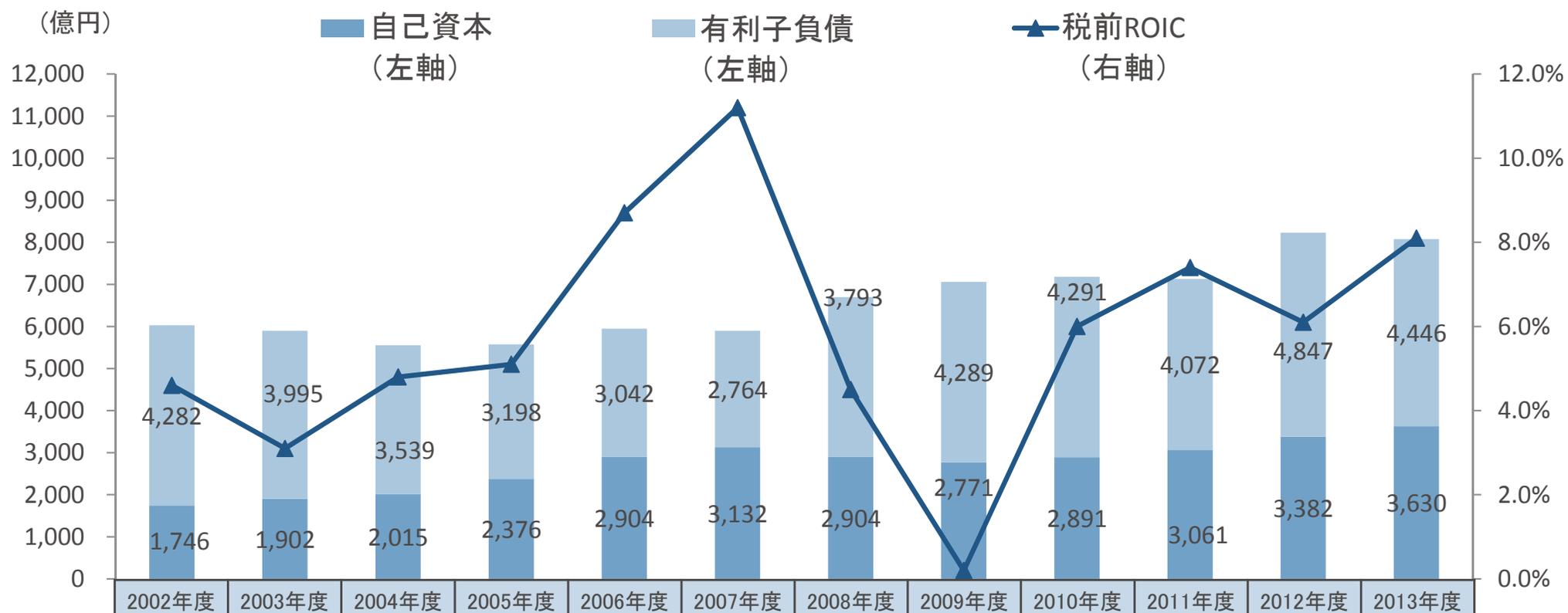
・ 設備投資額は有形・無形固定資産の新規計上額、減価償却費は有形・無形固定資産の減価償却実施額

セグメント別税前ROIC等の推移

	税前ROIC				営業利益率				総資産回転率(倍)			
	((税引前利益+支払利息)/投下資本)				(営業利益/売上高)				(売上高/総資産)			
	2012 年度 実績	2013 年度 実績	2014 年度 見通し	2015 年度 目標※	2012 年度 実績	2013 年度 実績	2014 年度 見通し	2015 年度 目標※	2012 年度 実績	2013 年度 実績	2014 年度 見通し	2015 年度 目標※
船舶海洋	17.3%	3.4%	0.2%	10.0%	4.6%	▲2.4%	0.0%	4.4%	0.80	0.62	0.70	
車 両	4.6%	10.2%	7.9%	15.3%	1.7%	5.1%	4.4%	7.2%	0.79	0.92	1.00	
航空宇宙	15.9%	19.6%	17.7%	12.7%	6.1%	9.3%	8.4%	7.4%	0.76	0.80	0.90	
ガスタービン・ 機械	5.3%	4.6%	5.1%	7.5%	3.3%	5.5%	3.7%	5.2%	0.82	0.67	0.80	
プラント・環境	21.2%	14.9%	13.5%	15.0%	8.4%	6.0%	5.0%	5.7%	1.00	0.94	1.10	
モーターサイクル& エンジン	3.4%	1.4%	9.2%	14.3%	0.9%	4.9%	5.0%	5.0%	0.92	1.27	1.40	
精密機械	14.0%	17.5%	16.8%	26.3%	6.4%	8.4%	8.5%	11.6%	1.13	0.98	1.10	
合 計	6.1%	8.1%	8.6%	11.0%	3.2%	5.2%	4.9%	5.6%	0.87	0.89	0.90	

※ 2015年度目標は2013年4月25日公表「中計2013」数量目標(為替前提:95円/\$)

〈参考〉ヒストリカル・データ



	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
税前ROIC	4.6%	3.1%	4.8%	5.1%	8.7%	11.2%	4.5%	0.2%	6.0%	7.4%	6.1%	8.1%
投下資本	6,027	5,896	5,553	5,573	5,946	5,896	6,697	7,059	7,182	7,132	8,228	8,076
売上高	12,395	11,602	12,415	13,224	14,386	15,010	13,385	11,734	12,269	13,037	12,888	13,854
営業利益	313	222	247	417	691	769	287	▲13	426	574	420	723
経常利益	162	121	210	308	490	639	387	142	491	636	393	606
当期純利益	130	63	114	164	297	351	117	▲108	259	233	308	386

為替レート 円/\$	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
	120	113	108	112	117	115	101	93	86	79	82	99

世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する “Global Kawasaki”

ご注意

本資料のうち、業務見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願い致します。実際の業績は、外部環境及び内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることを御承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、税制や諸制度などがあります。